

高知県感染症発生動向調査（月報）

2019年11月

高知県感染症情報センター

高知県衛生環境研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第45週(11月4日～)から第48週(～12月1日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における11月の上位6疾患の合計は、47.62で10月の4週間換算値の37.06と比べて増加した。インフルエンザと感染性胃腸炎の増加がその主因である。インフルエンザは、9月に流行開始し、10月はいったん減少に転じたが、42週で低下が止まり、以後は再び増加に転じ増え続けている。

1位は感染性胃腸炎で16.89(10月1位4週間換算値が12.11)と増加した。2位がインフルエンザで11.50(同5位3.49)と増加した。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で10.01(同2位6.88)と増加した。4位は手足口病で4.66(同3位6.30)と減少した。5位は流行性角結膜炎で2.29(同6位2.66)わずかに減少した、6位はRSウイルス感染症で2.27(同4位5.62)と減少した。

2018年からの風疹流行はまだ続いており、予防接種機会がなかった40～57歳の男性を対象に、抗体検査を前置きした上での定期接種(第5期と呼ばれ、麻しん風しん混合ワクチンが使用される)が4月から開始されている。

風疹は2018年に累積で2,941例が報告された。2019年第1週～42週の報告数は2,238人であったが、46週までの4週間に25人増えて2,263人となり、勢いは失速してきているが、油断できない。2018年49～52週に高知市からも成人の風疹が3例報告された。

風疹の最大の問題は先天性風疹症候群CRSである。2015年以降に報告がなかったCRSが2019年は、3例(埼玉県、東京都、大阪府)報告された。2012年(風疹患者2,386人)～2013年(14,344人)の風疹流行で、45例のCRSが出ている。主たる患者の年齢層は、前回2012～13年の流行と同様に、定期予防接種の対象外であった30～50歳代男性である。2020年の東京オリ・パラリンピックまでに流行を終息できるように万全を期したい。

2019年1月から麻疹も流行している。三重県での集会を発端に集団感染が報告され、続いて大阪府で、2月に商業施設での集団発生に至り、他の自治体にも拡大した。

麻疹報告数は、2019年第1～42週に報告されたのは723人であったが、直近4週間で8人増えて731人となり、患者数は2009年以降で最大となった。731人のうち検査診断例が516人、臨床診断例19人、修飾麻疹が196人である。都道府県別では、多い順に、大阪府148(前月に比べ+1)人、東京都121(同+2)人、神奈川県92人、三重県55人、兵庫県48人、愛知県41(同+1)人、埼玉県35人であった。福岡県、奈良県、岐阜県、徳島県で各1人新たに報告され四国では、徳島県から第44週に2019年初めての報告があった。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	45週	46週	47週	48週	計
1	感染性胃腸炎		3.15	4.08	4.32	5.34	16.89
2	インフルエンザ		1.03	1.84	3.11	5.52	11.50
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.78	2.58	2.55	3.10	10.01
4	手足口病		1.36	1.16	1.06	1.08	4.66
5	流行性角結膜炎		0.60	0.60	0.50	0.59	2.29
6	RSウイルス感染症		0.66	0.58	0.51	0.52	2.27

県内情報

1. 全国との対比(定点当たり報告数)

高知県の11月の上位6疾患の合計は27.35で10月の4週間換算値29.10と比較すると横ばいで、全国よりも少

なかった（表2）。本県でもインフルエンザは減少に転じていたが、全国よりも少し遅れて47週から再び増加に転じており今後の動向が注目される。

1位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で10.33（10月1位6.95）と増加し、全国と同等だった。2位は感染性胃腸炎で7.16（同2位6.86）と横ばいで全国よりも少なかった。3位は伝染性紅斑で3.40（同5位3.42）と横ばいで全国よりも多かった。4位は手足口病で2.57（同4位3.73）と減少し、全国よりも少なかった。5位がインフルエンザで2.00（同12位0.79）と増加したが全国よりも少なかった。6位はマイコプラズマ肺炎で1.89（同8位1.62）と増加し全国と同等であった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	45週	46週	47週	48週	計
1	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.90	2.43	2.93	3.07	10.33
2	感染性胃腸炎		1.33	1.83	1.77	2.23	7.16
3	伝染性紅斑		0.63	0.77	1.03	0.97	3.40
4	手足口病		0.67	0.57	0.63	0.70	2.57
5	インフルエンザ		0.31	0.15	0.52	1.02	2.00
6	マイコプラズマ肺炎		0.38	0.38	0.38	0.75	1.89

2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 96名（10月 47名）。9月に流行が始まり、10月は減少に転じていたが、全国よりも少し遅れて47週から再び増加に転じており今後の動向が注目される。県下の全域で発生しており、中央西、高知市で特に多かった。国内の検出状況は今シーズン直近5週間（44～48週）では、AH1pdm09が最多で95%（179件）、次いでAH3が4%（7件）、B（ビクトリア系統）が1%（3件）である。都道府県別の集計では、本県は鳥取県に次ぐ少ない報告数であり、全国的な流行が先行していることを意味している。ウイルスはAH1pdm09が1件検出された。

2) 咽頭結膜熱

報告数 44名（10月 92名）。8月は1カ月の報告数として過去10年間で最多を記録し、9月以降は減少してはいるが多めの数字で推移している。幡多、中央西、高知市、須崎、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 310名（10月 261名）。本年9月以降、この時期として過去10年で最高の報告数で推移している。県下全域から報告され、特に高知市、中央西から報告が多かった。細菌は*Streptococcus pyogenes* T1が3件検出されている。

4) 感染性胃腸炎

報告数 215名（10月 257名）。例年より少なめの数である。県下全域から報告があり、特に高知市、幡多、中央東から多く報告された。病原体は、Astrovirusが1件検出されている。

5) 水痘

報告数 33名（10月 43名）。2014年10月からの予防接種定期化の効果で少ない数で推移している。県下全域から報告され、須崎、高知市、中央西から特に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

6) 手足口病

報告数 77名（10月 140名）。2月に流行が終息していたが、5月から流行が始まり大流行となった。7月は1カ月の報告数としては、過去10年間で3番目の大きな流行であった。8月は激減し、以後は減り続けている。

安芸を除いた地域から報告があり、特に多かったのは幡多、高知市、中央西である。手足口病の臨床診断の患者からCoxsackievirus A16型が3件検出された。

6月からのCoxsackie A6流行中は、高熱を伴い経口摂取が低下して、入院を要する例が多く、皮疹の分布・性状が非定型的であった。9月になって、今年2回目の手足口病流行が到来した保育施設が複数確認され、2回目の罹患を経験した幼児も多くみとめられたが、おおむね定型的な手足口病の臨床像（微熱にとどまり、掌蹠や四肢末端、膝、臀部に丘疹・水疱をみとめる比較的軽症の例）を呈していた。9月の流行はCoxsackie A6にかわってA16感染症が主体を占めたと推測される。

7) 伝染性紅斑

報告数 102名（10月 128名）。全国的に報告が多いが、本年で本年7月以降は、同時期としては過去10年間で最も多い報告数で推移している。特に10月は過去10年間で最大の報告数（時期を問わず）を記録した。年齢分布は5～9歳が63%、1～4歳が33.3%で大部分を占めている。県全域から報告されたが、安芸、須崎、高知市、中央西、中央東、幡多の順に多く報告された。human parvovirus B19は、伝染性紅斑の患者から4件、「その他」の診断名の患者から1件検出された。

8) 突発性発疹

報告数 41名（10月 39名）。想定内の変動で推移している。

9) ヘルパンギーナ

報告数 10名（10月 69名）。6月から流行し、8月に減少に転じていたが、9月は再び増加し、10月以降減少し終息に向かっている。高知市、中央東、幡多から報告があった。ウイルスは、ヘルパンギーナの患者からの検出はないが、「その他」の診断の患者からCoxsackievirus B5が3件、A5が1件検出された。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 5名（10月 5名）。須崎、高知市から2名ずつ、中央東から1名報告された。ウイルスは検出されていない。

11) RSウイルス感染症

報告数 20名（10月 213名）。2019年も2018年同様に流行開始が早く、8月の報告数は2017年以降、270名、126名、233名と多い数字で推移し、従来に比べて流行時期が1カ月程度早まる傾向が続いている。11月は激減したが、幡多、高知市、中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

12) 流行性角結膜炎

報告数 4名（10月 5名）。高知市から報告された。ウイルスは検出されていない。

13) 細菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（10月 0名）。1年に10名前後の数で推移している。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因菌とする小児例の報告は皆無である。

14) 無菌性髄膜炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 0名（10月 1名）。年間20～30人台の報告数で推移していたが、2017年7人、2018年1人、2019年5人と報告が少ない。

15) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 15名（10月 16名）。高知市、中央東の順に多く報告された。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 32名（10月 23名）。平年並の変動の範囲である。幡多、高知市、中央東、安芸から表記の順に多く報告された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名（10月 0名）2014年は計4例、2015年、2016年は各1例、2017年は2例、2018年は1例の報告があり、2019年はこれまで1例である。

高知県感染症発生動向調査部会
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患（平成31年11月）

類型	病名	2019年											総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
2	結核	11	10	9	5	14	11	10	12	6	10	2	100
3	腸管出血性大腸菌感染症								3		1	4	8
	腸チフス										1		1
4	A型肝炎					1			1				2
	E型肝炎										1	1	2
	つつが虫病											1	1
	デング熱									1			1
	日本紅斑熱					2	1		1	1	4	1	10
	レジオネラ症	1	1				2	1	1	1			7
	重症熱性血小板減少症候群				1	1	2		1		1		6
	マラリア								1				1
5	アメーバ赤痢			1	1	1							3
	ウイルス性肝炎	1											1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	4	2	1	1	1		1	2	4		20
	急性弛緩性麻痺									1		1	2
	急性脳炎	1				1							2
	クロイツフェルト・ヤコブ病								1				1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				1							2
	後天性免疫不全症候群				1								1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症			1					1	1			3
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	4	1	1	4	1	1	2		1	2	18
	破傷風					1							1
	梅毒	2	4			5	2	1		4		1	19
百日咳	13	20	20	12	18	10	12	14	12	20	11	162	
総計		35	43	34	22	50	30	25	39	29	43	24	374

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2019年

11月

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	2	9	46	33	1	5	96	47	13
小児科	咽頭結膜熱		1	14	5	2	22	44	92	32
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	26	190	51	14	26	310	261	171
	感染性胃腸炎	9	49	96	12	7	42	215	257	379
	水痘	1	3	17	4	4	4	33	43	32
	手足口病		2	20	5	1	49	77	140	87
	伝染性紅斑	12	18	48	13	9	2	102	128	29
	突発性発疹	1	4	20	5	4	7	41	39	64
	ヘルパンギーナ		3	5			2	10	69	12
	流行性耳下腺炎		1	2		2		5	5	7
	RSウイルス感染症		2	6			12	20	213	59
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			4				4	5	9
STD	性器クラミジア感染症			2				2	2	
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ						2	2		
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎									2
	無菌性髄膜炎								1	
	マイコプラズマ肺炎		2	13				15	16	10
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									3
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限り)			2				2	1	2
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2	4	21			5	32	23	25
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
計	30	124	506	128	44	178	1,010	1,342	936	
前月	45	244	621	126	84	222				
前年同月	46	185	497	60	61	87				
小児科定点数	2	7	11	3	2	5				

高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

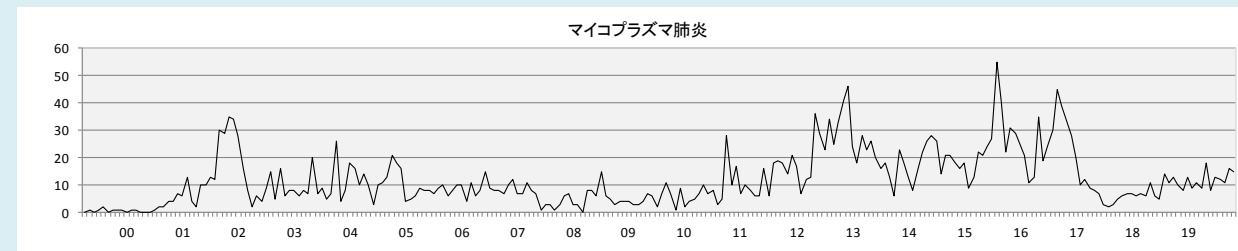
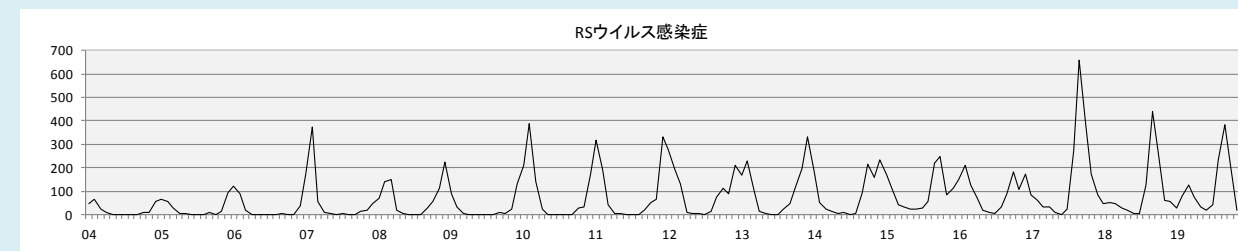
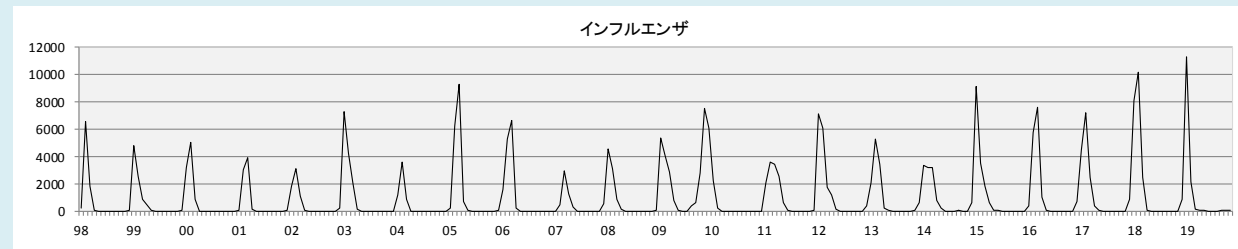
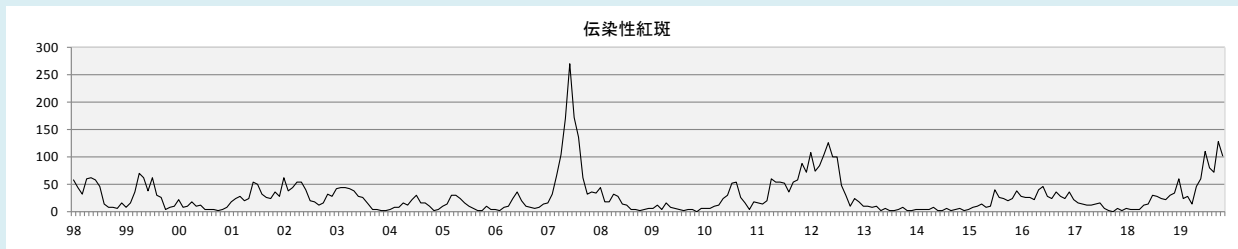
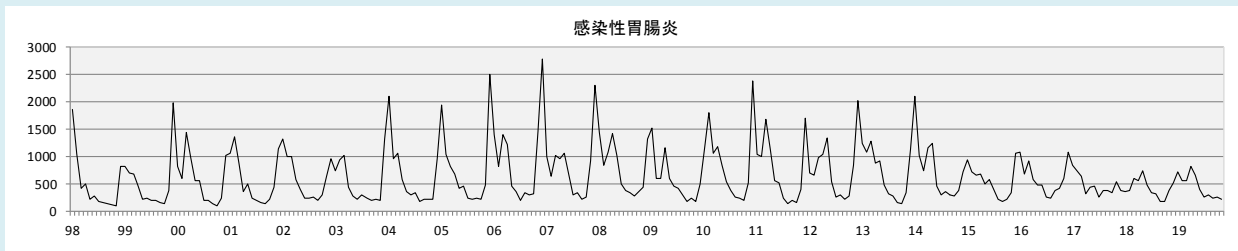
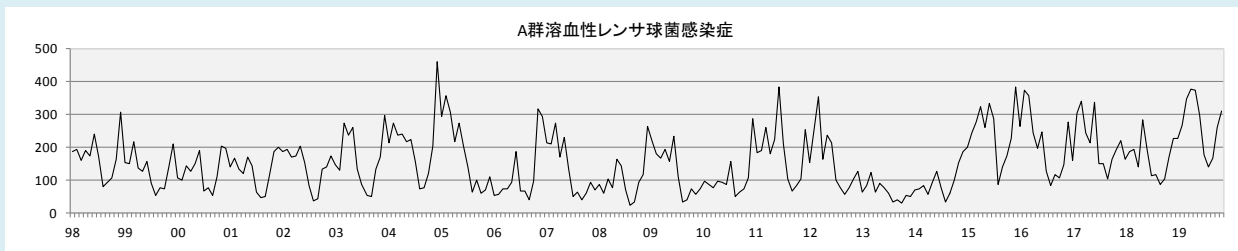
2019年

11月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	0.50	0.81	2.87	6.60	0.25	0.64	2.00	0.99	0.27
小児科	咽頭結膜熱		0.14	1.27	1.67	1.00	4.40	1.47	3.07	1.07
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	3.72	17.26	17.00	7.00	5.20	10.33	8.69	5.70
	感染性胃腸炎	4.50	7.00	8.72	4.00	3.50	8.40	7.16	8.57	12.64
	水痘	0.50	0.43	1.54	1.33	2.00	0.80	1.11	1.43	1.07
	手足口病		0.29	1.81	1.66	0.50	9.80	2.57	4.66	2.90
	伝染性紅斑	6.00	2.57	4.36	4.34	4.50	0.40	3.40	4.27	0.96
	突発性発疹	0.50	0.57	1.82	1.66	2.00	1.40	1.36	1.29	2.14
	ヘルパンギーナ		0.43	0.45			0.40	0.34	2.30	0.39
	流行性耳下腺炎		0.14	0.18		1.00		0.17	0.15	0.23
	RSウイルス感染症		0.29	0.54			2.40	0.68	7.11	1.97
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎			4.00				1.33	1.67	3.00
STD	性器クラミジア感染症			1.00				0.33	0.33	
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ						1.00	0.33		
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎									0.26
	無菌性髄膜炎								0.13	
	マイコプラズマ肺炎		2.00	2.60				1.89	2.02	1.26
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.39
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに 限る)			0.40				0.26	0.13	0.26
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.00	4.00	4.20			5.00	4.00	2.88	3.13
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点分計		13.50	16.39	40.82	38.26	21.75	33.84	30.59	42.53	29.34
前月		20.50	33.65	52.47	40.80	41.75	43.30			
前年同月		23.00	25.75	41.04	19.72	30.25	16.53			

注目される疾患別月別推移



高知県感染症情報(月報)

2019年11月

検査情報

ウイルス、細菌の分離状況

11月はウイルス 54件、細菌4件の搬入があり、そのうちウイルス 32件、細菌 3件の病原体を検出し、また、2019年10月に搬入された検体でウイルス4件、細菌 1件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Astrovirus NT 1件、Coxsackievirus A5 1件、Coxsackievirus A16 3件、Coxsackievirus B5 5件、Cytomegalovirus 1件、Echovirus 30 1件、Epstein-Barr virus 2件、Herpes simplex virus 1 2件、Human herpes virus 6 2件、Human herpes virus 7 6件、Human metapneumovirus 2件、human parvovirus B19 5件、Influenza virus AH1pdm09 1件、Rhinovirus 4件であった。また、細菌の内訳は、*Staphylococcus aureus* VIII 1件、*Streptococcus pyogenes* T1 3件であった。

ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	9ヶ月	男	感染性胃腸炎	下痢,	ふん便	10/21	<i>Staphylococcus aureus</i> VII
2	6	男	不明発疹症	37℃,発疹,	ぬぐい液	10/23	Human herpes virus 7
3	2	女	脊髄炎	—	ふん便	10/24	Rhinovirus
4	0ヶ月	男	ヘルパンギーナ	38℃,	ぬぐい液	10/25	Coxsackievirus B5
5	0ヶ月	女	無菌性髄膜炎	39℃,	髄液、ぬぐい液	10/26	Coxsackievirus B5
6	2	女	不明熱	39℃,下痢,嘔吐,嘔気,咳嗽,	ぬぐい液	10/29	Coxsackievirus B5
7	4	女	—	39℃,嘔吐,嘔気,	ふん便、ぬぐい液	10/29	Coxsackievirus B5
8	4ヶ月	男	—	—	髄液	10/29	Herpes simplex virus 1
9	2	女	EB感染症	38℃,咳嗽,	ぬぐい液	10/30	Echovirus 30 Epstein-Barr virus
10	8	男	伝染性紅斑	38℃,	ぬぐい液	10/30	human parvovirus B19 Human herpes virus 7
11	7ヶ月	女	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	10/30	Influenza virus A H1pdm09
12	4	女	インフルエンザ様疾患	40℃,下気道炎,	鼻汁	10/31	Human metapneumovirus
13	1	男	—	38℃,	ふん便	10/31	Rhinovirus
14	3	男	EBV	40℃,	ぬぐい液	11/1	Human herpes virus 6 Human herpes virus 7
15	1	男	手足口病	39℃,水疱,	髄液、ぬぐい液	11/1	Coxsackievirus A16
16	1	男	気管支炎	40℃,気管支炎,	吸引鼻汁	11/6	Coxsackievirus B5
17	5ヶ月	男	ADV感染症の疑い	上気道炎,	鼻咽腔ぬぐい液	11/7	Rhinovirus
18	2	男	気管支炎	39℃,下気道炎,気管支炎,	鼻咽腔	11/9	Rhinovirus
19	6	男	伝染性紅斑	39℃,咳嗽,発疹,	ぬぐい液	11/11	human parvovirus B19
20	7	女	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃,上気道炎,気管支炎,発疹,	ぬぐい液	11/11	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1
21	1	女	手足口病	—	ぬぐい液	11/11	Coxsackievirus A16
22	2	女	—	咳嗽,口内炎,	ぬぐい液	11/11	Herpes simplex virus 1 Human herpes virus 7
23	2	男	—	38℃,下痢,腹痛,	ふん便	11/12	Coxsackievirus A5
24	1	男	感染性胃腸炎	37℃,下痢,	ふん便	11/13	Astrovirus NT
25	7	男	伝染性紅斑?	37℃,発疹,	ぬぐい液	11/15	human parvovirus B19
26	1	女	上気道炎	40℃,咳嗽,上気道炎,	吸引鼻	11/15	Human metapneumovirus
27	8	男	伝染性紅斑	37℃,発疹,	ぬぐい液	11/18	Human herpes virus 6 Human herpes virus 7
28	10	女	伝染性紅斑	上気道炎,発疹,	ぬぐい液	11/18	human parvovirus B19 Epstein-Barr virus
29	13	男	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃,上気道炎,気管支炎,	ぬぐい液	11/18	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1
30	1	男	手足口病	38℃,水疱,口内炎,	ぬぐい液	11/18	Coxsackievirus A16
31	10	女	不明熱	38℃,	ぬぐい液	11/19	Human herpes virus 7
32	8	女	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39℃,上気道炎,	ぬぐい液	11/21	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1
33	1	男	不明熱	40℃,	ぬぐい液	11/25	Cytomegalovirus
34	5	男	伝染性紅斑	38℃,上気道炎,発疹,	ぬぐい液	11/25	human parvovirus B19

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2019年											2019年 総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<i>Streptococcus pyogenes</i> T1	1					2	2				3	8
	<i>Streptococcus pyogenes</i> T12			1	2	1							4
	<i>Streptococcus pyogenes</i> TB3264					1							1
	<i>Streptococcus pyogenes</i> Untypable			1									1
	計	1		2	2	2	2	2				3	14
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT	23	29	3	1		1						57
	Influenza virus A H1pdm09	8	4	1					1	6	1	1	22
	Influenza virus B /Victoria		1	2	1	3	1			1			9
	Human metapneumovirus	1											1
	計	32	34	6	2	3	2		1	7	1	1	89
咽頭結膜熱	Adenovirus 1						2						2
	Adenovirus 2			1			2						3
	Adenovirus 3					1	1		1		1		4
	Adenovirus 5										1		1
	Rhinovirus					1					1		2
	計			1		2	5		1		3		12
感染性胃腸炎	Adenovirus 5		1				1						2
	Adenovirus 31			1									1
	Adenovirus 41					1	1	2					4
	Astrovirus NT		1				3					1	5
	Coxsackievirus A4				1								1
	Coxsackievirus A5										1		1
	Coxsackievirus A6							1					1
	Echovirus 30								1				1
	Echovirus 11					1	1						2
	Norovirus GI NT	1		1								1	3
	Norovirus GII NT	2	2	2	4	6	1		2				19
	Rhinovirus								1				1
	Rotavirus group AG3	1											1
	Rotavirus group AG9				5	2							7
Sapovirus genogroup unknown	2		2		1		1					6	
<i>Salmonella Enteritidis</i>	1											1	
<i>Staphylococcus aureus VII</i>											1	1	
	計	7	4	6	10	11	7	4	4		3	1	57
ヘルパンギーナ	Adenovirus 5							1					1
	Coxsackievirus A5										1		1
	Coxsackievirus A6							5					5
	Coxsackievirus B5										1		1
	Echovirus 25				1								1
	計				1			6			2		9
手足口病	Adenovirus 1						1						1
	Adenovirus 2						1	1	1				3
	Adenovirus 3	1											1
	Coxsackievirus A6						17	24	2				43
	Coxsackievirus A5								2				2
	Coxsackievirus A16								1	4	5	3	13
	Cytomegalovirus				1				1				2
	Enterovirus 71						1	1					2
	Herpes simplex virus 1								1				1
	Human herpes virus 6					1					1		2
	Human herpes virus 7					1	1						2
Rhinovirus				1		2						3	
	計	1			2	2	23	26	8	4	6	3	75
流行性角結膜炎	Adenovirus 2												
	計												
伝染性紅斑	Epstein-Barr virus											1	1
	Human herpes virus 6											1	1
	Human herpes virus 7				1						1	2	5
	Human parvovirus B19					1	1	1				4	7
	Rhinovirus						1						1
	計				1	1	3	1			1	8	13

臨床診断名	病原微生物	2019年											2019年 総計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
流行性耳下腺炎	Epstein-Barr virus	1		1										2
	Herpes simplex virus 1	1												1
	Mumps virus(ワクチン株)								1					1
	計	2		1					1					4
無菌性髄膜炎	Coxsackievirus B4													
	Coxsackievirus B5										1			1
	Echovirus 18								1					1
	Echovirus 30									1				1
	Herpes simplex virus 1									1				1
	Human parvovirus B19										1			1
	Varicella-zoster virus								1					1
計								2	3	1			6	
RSウイルス感染症	Coxsackievirus B5										1			1
	Human herpes virus 6											1		1
	Human metapneumovirus											1		1
	Respiratory syncytial virus A								1					2
	Respiratory syncytial virus B	2		1								1		4
計	2		1					1			5		9	
水痘	Varicella-zoster virus													
	計													
突発性発疹	Human herpes virus 6						1							1
	Rhinovirus								1					1
	計						1		1					2
その他	Adenovirus 1	1	1			1	1	1						5
	Adenovirus 2	1			2		1		1					5
	Adenovirus 3	1					2		1	1	1			6
	Adenovirus 4								1					1
	Adenovirus 5						1							1
	Adenovirus 31				1									1
	Adenovirus 41	1		1				1	2					5
	Astrovirus NT						2							2
	Coxsackievirus A5										1	2	1	4
	Coxsackievirus A6					1	9	11	2					23
	Coxsackievirus B2								1	1	1			3
	Coxsackievirus B5									1	1	3		5
	Cytomegalovirus	2			4	5	4		1			2	1	19
	Echovirus 11	2		1		1	3	2		1	2			12
	Echovirus 30									2			1	3
	Epstein-Barr virus					1						1	1	3
	Herpes simplex virus 1							3	2	3	1	2		11
	Human herpes virus 6		3	1	6	2	5	3	3	2	2	1		28
	Human herpes virus 7			2	3	3	1	2	4	3	2	3		23
	Human metapneumovirus		1		1			2	1		1	1	2	9
	Human parvovirus B19						2	3	2				1	8
	Influenza virus A H3 NT	1												1
	Influenza virus A H1pdm09	1												1
	Influenza virus B /Victoria				1									1
	Measles virus genotype A(ワクチン株)					1								1
	Norovirus GI NT			1										1
	Norovirus GII NT	4	1	3	4		1				1			14
	Parainfluenza virus 1				1									1
	Parainfluenza virus 3			1	4	2		3						10
	Parechovirus 1								1	1	1			3
	Parechovirus 3	1		1			1		1					4
	Respiratory syncytial virus A			1					3	2				6
Rhinovirus	3	2	3	3	3	6	5	2	5	2	3		37	
Rotavirus group AG9				1									1	
Sapovirus genogroup unknown		1		1				2					4	
計	18	9	15	32	24	37	37	27	25	19	19		262	
総計	63	47	32	50	45	80	76	46	39	41	35		552	

類型	病名	報告年																			総計			
		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017		2018	2019	
2	結核										131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	100	1747
	計										131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	100	1747
3	コレラ	1					1						1											3
	パラチフス	2																						2
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2												2			27
	腸チフス		1						1									1					1	4
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34	2	4		8	205
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34	4	4		9	241
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1			3					3	1				2	34
	Q熱	1	1	2				1																5
	オウム病			1		1															1			3
	つつが虫病		9	5	2	4	5	6	7	2	5	4	2	5	8	3	3		4	11	2	1		88
	マラリア								2					1									1	4
	レジオネラ症		2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7		73
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10		172
	日本脳炎	1	1	1					1				1	1										6
	レプトスピラ症													4	2	1					1			9
	E型肝炎												1		1								2	4
	デング熱												1				3	2	1				1	8
重症熱性血小板減少症候群																3	11	3	7	5	5	6	40	
	計	20	21	26	12	23	21	18	17	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	30	29	30	446	
5	アメーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1		3	2	2	3		7	3	2	5	3	3	47	
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3		3		1			2	1	1	58	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																7	19	21	22	21	20	110	
	急性弛緩性麻痺																					1	2	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3				2				2	1	1	32
	ジアルジア症		1	2	1							1			1	1						1		8
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1								1							1		1	1		5
	急性脳炎								1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	1		2	20	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	1				1	1	1	1	3		1			3	5	6	2	26	
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	75	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																1	5	3	4	7	3	23	
	侵襲性肺炎球菌感染症																1	4	12	16	18	14	18	83
	水痘(入院例に限る)																	2	1	1	1	3		7
	播種性クリプトコックス症																			1	3	5		9
	髄膜炎菌性髄膜炎										1												1	1
	破傷風		3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	1			1	31
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	23	19	19		195
百日咳																					173	162	335	
麻疹											5											5	5	
風しん										1	1				4	9	1				3		19	
	計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	94	268	235	1089	
新型	新型インフルエンザ																						34	
	計																						34	
動物	鳥インフルエンザ																						1	
	計																						1	
	総計	61	48	67	42	51	53	46	62	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	238	398	374	3558	